

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「人は一人では生きていけない」

皆さんは先生やご両親から、よくこうした言葉を聞かされたことはありませんか。テレビドラマなどでもこんなセリフをよく耳にします。「たしかにそうだな、人間一人では生きていけないな」とこの言葉に素直に納得する人もいるかもしれませんが。でも反対に「ホントにそうかな。なんかしつくりこないな。人はじつは一人でだって十分生きていけるんじゃないかな」と思う人だっているでしょう。

皆さんはどう思われるでしょうか。

この問いに関する答えの傾向としては、こんな予想が立てられます。年齢が上になればなるほど、そして暮らしている場所が地方であればあるほど、「人は一人では生きていけない」と答える可能性が高い。そして若い年代でしかも都会暮らしであればあるほど、「案外人間は一人で生きていけないか」と答える割合が多いのではないかと。もちろん都会暮らしの若者すべてが「一人でも生きていられる」と考えるわけではないでしょう。しかし全体的にはこうした傾向が見られるのではないかと思われます。(中略)

とりわけ、今はコンビニなど二十四時間営業の店も増え、思い立った時にいつでも生活必需品は手に入れられるし、ネットショッピングと宅配を使えば、部屋から一歩も出ずにあらゆるサービスを受けることも可能になっています。働くにしても、仕事の種類によってはメールとファックスで全部済んでしまう場合だってあります。

このように、一人で生きていても昔のように困ることはありません。生き方としては、「誰とも付き合わず、一人で生きる」ことも選択可能なのです。

ある意味で、「人は一人では生きていけない」というこれまでの前提がもはや成立しない状況は現実には生じているといえるのです。

さて、こうした現代的状況を目の前にして私が言いたいのは、「だから、一人でも生きていけるんだよ」ということではありません。みんなバラバラに自分の欲望のおもむくままに勝手に生きていきましようといったことでもありません。「一人でも生きていくことができてしまう社会だから、人とつながることが昔より複雑で難しいのは当たり前だし、人とのつながりが本当の意味で大切になってきている」ということが言いたいのです。つながりの問題は、こうした観点から考え直したほうがよさそうです。

友だち幻想 人と人の(つながり)を考える 菅野 仁 著

ちくまプリアー新書

問題

著者の主張に対するあなたの考えを、自身の体験をふまえて八〇〇字以内で記述しなさい。